

# など補正

## 6月定例会

6月定例会は、6月17日から27日までの11日間の会期で開催されました。補正予算をはじめ、条例の制定・一部改正などが審議され、原案どおり可決・同意されました。また、陳情2件が提出され、うち1件が採択となりました。

### 一般会計の主な補正

補正予算の主なものは、地域の元気臨時交付金を活用する庁舎管理費や平和公園管理費などで、3億4322万4千円を追加し、補正後の予算総額を212億5501万3千円としました。

### 総務費

○庁舎管理費

1億489万7千円

穎娃庁舎本館耐震補強工事について、地域の元気臨時交付基金繰入金を充当して前倒しで実施するため、工事請負費等を補正するものである。

### 商工費

○穎娃地区おもてなし拠点施設整備事業費

600万円

番所公園及び大野岳公園で観光案内や特産品販売等ができるおもてなし拠点施設を新築するため、工事請負費等を補正するものである。



番所でのおもてなし

〔審査の中で〕

問 大野岳公園の水の確保は。

答 水洗トイレ等の水については貯水タンクの整備等が実施されることから確保されるが、飲料水については、現在と同様水道水の運搬により対応する。

○観光案内人人材育成事業費

237万5千円

地域の高齢者を対象にした観光ボランティア育成に従事する人を雇用するため、委託料を補正するものである。



知覧地域の観光ボランティア

〔審査の中で〕

問 観光ボランティア会員の状況は。

答 知覧及び穎娃地域において観光ボランティア会員18名が活動している。不在の川辺地域を含む市内全域を対象に人材を育成したい。

### 民生費

○障害者相談支援事業所サポート事業費

580万5千円

障害福祉サービス等利用計画の作成促進を図るため、市内の相談支援事業所に対し、当該計画の作成補助等を行わせるための補助職員の新規雇用による経費である。

〔審査の中で〕

問 委託先の補助職員の雇用数は。

答 委託事業所が5事業所で、1事業所当たり1人雇用する計画となっている。

○穎娃中央温泉センター管理費

148万5千円

プール監視業務について、警備業法に適合するように監視員を新たに配置することに伴い、賃金等を増額補正するものである。



穎娃中央温泉プール

〔審査の中で〕

問 監視員を新たに配置する理由は。

答 24年6月に警察庁が出していた警備業法に関する通知の確認として、本年4月に県警から委託業者へ問い合わせがあった。これを受け、警備業法上、プール監視業務が適合せず、市直営でプール監視業務を行う必要があることが判明したため。

# 平和公園管理費

## 衛生費

○各種がん等検診費

461万5千円

過去のがん検診推進事業の子宮がん・乳がんの対象者で未受診者に無料クーポン券を送付し、がん検診の受診促進を図るための経費を計上するものである。

### ～審査の中で～

**問** 受診を促進するという考え方であれば、受診者に対して商品券等の特典を与える方が、より効果的ではないか。

**答** 今回実施する事業は、21年度から24年度にかけて配布された無料クーポン券を利用しなかった方に、受診してもらうことを目的としている。

## 農林水産業費

○畜産業振興費

268万3千円

平成25年9月より発生・蔓延している豚流行性下痢（PED）の防疫対策として、ワクチン接種と施設の消毒薬購入に対する助成経費を補正計上するものである。

### ～審査の中で～

**問** 突発的な伝染病のため一般財源からの支出としているが、国・県の補助事業はなかったか。

**答** 国庫補助事業で類似するものはあるが、今回のPEDは対象とならない。ただ、国・県から今後特別交付金として算定される可能性を示唆されている。

## 活動火山周辺地域防災 営農対策事業費

487万5千円

農業・農村活性化推進施設等整備事業を活用し摘栽前茶園洗浄機を導入することとしていたが、より高率補助の本事業が採択となったことから補助金を補正計上するものである。

## 土木費

○街路維持費

260万3千円

河上橋に隣接する市営駐車場入口部分の清流溝破損部分を補修する工事請負費等を計上するものである。

### ～委員から～

夏休み期間は利用頻度も増加することから、商工観光課と協議し工期を決定すること。また、県道についても路面補修が必要な状況となっているため、整備については県に早急に要望するようとの意見が出された。

## 教育費

○平和公園管理費

1億5164万3千円

公園利用者の駐車場不足解消のため、交通公園とゲートボール場を駐車場として整備するもので、新たな駐車スペースの確保と、文化会館前駐車場から知覧特攻平和会館までの通路にアーケードを設置し、利用者の利便性の向上を図るものである。

### ～審査の中で～

**問** 事業の着手理由と計画内容は。

**答** これまでもスポーツ大会等の開催時に駐車場不足が指摘されていたことと、世界記憶遺産登録を考慮し取り組むこととした。事業内容としては軽自動車31台、普通車174台、大型バス18台の計223台分の駐車スペースを新たに確保する。

### ～委員から～

これまで市民の憩いの場として親しまれてきたことから、実施においては可能な限り樹木を残すよう配慮し、公園としての景観を損なうことのないよう強く要望する。



防疫対策をする養豚場



駐車場に整備される交通公園



アーケードが設置される通路